

[取組事例] 中津市立山口小学校、児童数153名、中津教育事務所管内

好 事 例 の  
ポ イ ン ト

・教務主任の研修通信による協議内容の共有と成果の実感(チーム山口 研究・研修通信)

### 1. 取組の内容

2018年5月17日

チーム山口 研究・研修通信 No.3

## 『WA』

### 『読む力の向上』させるには？

先日の「全国学テ」からの研修ご苦労様でした。事後の研修から、子どもたちが持っている力が現れるためには、「読むこと」の力の向上が図られないといけないことに焦点が当てられたように思います。皆さんの考えたものと、話し合われた内容から今後の方向性を考えてみました。

	皆さんからの意見	まとめ・改善
STRONG	・情報(長さ etc)をメモ、図に記入できる。 ・書き込むことができる。メモする力がある。 ・決められた型があれば、その型に沿って発表できる。	短い文・型にはまった文には強い
	・自分の思いや意見が書ける子が多い。無回答が少ない。 ・文章を書くことをいやがらない。書くことに抵抗が少ない ・ものの名前の単語は多く知っている。	書く意欲は高い
	・最後まで取り組む子が多い。最後まで取り組もうとする。 ・発表したい。聞いてほしい子が多い。 ・わからないときに、「わからない・教えて」といえる。	気持の面の子どもたちの成長
WEAK	・問題場面が想起できない。 ・どこに何が書かれているかわからない子がいる。 ・考えをまとめ、文章に書くことを苦手としている。 ・要約ができない。 ・大切なことを見つけ出せない。 ・条件を満たす文章が書けていない。 ・考えを理論的に(筋道を立てて)整理することが苦手	読書量を増やす 授業での音読の機会を増やす 文法・持続語の習得
	・文章を最後まで読まずに答える子が多い。 ・長文を読み通せない。読み取る力が弱い。 ・長い文になるとあきらめてしまう。 ・長文は苦手意識が先に来る。 ・訪ねられていることがわからない。	読書量を増やす 授業での音読の機会を増やす まずは、読み聞かせで読書量を増やす
	・読むスピードが遅い。読み取りに時間がかかる。 ・主語・述語・修飾語などがわからない。見つけられない。 ・語彙が少ない。気持ちを表す語彙が少ない ・読書の質に偏りがある。(図鑑や絵・写真の多い本) ・生活経験による体験や言語の差が大きい。 ・聞くのが苦手。	読書量を増やす 辞書引きの機会 映像と言葉の結びつき



#### 研修から みんなでやれそうなことをまとめてみると

以上のことから、みんなでやれそうなことを考えてみました。

- ① 授業になるべく音読を取り入れる。  
物語教材で授業の初め数分間、必ず音読をする実践をされている方もいます。
- ② 自読と読み聞かせのすすめ(たくさん文に触れさせる)  
朝読の充実「テーマ」を決めて読ませる方法などもあると聞きました。
- ③ 視覚的に映像と言葉を結びつける  
給食の待ち時間などを利用できるといいあの声が出ました。

しかし、どこでやるのか、時間をどう確保していくのが問題として残っています。また、よい方法などがありましたら、教えてください。

文責 教務主任 松本

学校の課題について教職員で協議した内容を通信で共有

今後の取組の方向性を端的にまとめて周知

### 2. 取組についての評価等

- (1) 協議した内容を共有できるよう通信で明文化し、次の実践がスピーディーに行える
- (2) 通信にすることで取組の足跡が把握でき、全員が深化を実感できる